

**CNET Japan**

**ワーケーションカテゴリ限定  
広告キャンペーン**

**2023年9月末迄**

## ワークেশョンを切り口に新しい働き方・暮らし方の在り方を提案

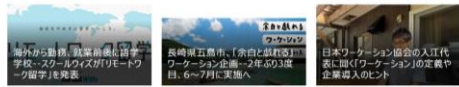
月間1,300万PV、30代以上の意思決定層が中心読者のテクノロジーメディア「CNET Japan」にて、ワークেশョン特設サイトを新設。

これからワークেশョンを始めてみたいビジネスパーソンに向けた入門編コンテンツを多数掲載するだけでなく、ワークেশョンに注力している自治体の先進事例をはじめ、ワークেশョンを制度として導入したり地方創生に取り組みたいと考える企業、体験者などへの取材を通じて、さまざまな角度から地方創生に繋がるワークেশョンの魅力や課題、将来の可能性について発信をしています。



CNET Japan > ワークেশョン

### NEW 新着記事



### ワークেশョン入門



### 事業者や施設の想い



### 体験レポート



### ワークেশョン関連記事



カテゴリ一覧

- ワークেশョン入門
- 事業者や施設の想い
- 体験レポート
- ワークেশョン関連記事

記事一覧 >

エリア別 ワークেশョン施設一覧

- 北海道
- 東北
- 関東
- 中部
- 近畿
- 中国
- 四国
- 九州
- 沖縄

記事一覧 >

### ワークেশョン入門



**社員が「ワークেশョン」する際に気をつけること--有給にするかテレワークか**  
今回は、会社員ワークেশョンを実現する際に気をつけるべきことをお伝えします。



**ワークেশョンの予算はいくら必要? --お金以外に大切にすべき「投資」も**  
「1日1000円程度の手当はどれくらい必要?」よく寄せられる質問です。実はワークেশョンでは「お金」以外にも、大切にしたいポイントがいくつかあります。



**家族と?ひとり?ワークেশョンに誰と行くか? --「どう過ごしたいか」で決まる**  
ワークেশョンは「どこに行か?」「誰と行くか?」が重要です。そこで「家族と?ひとり?」で決まるといえます。今回は「家族とワークেশョン」についてお伝えします。



**ワークেশョン初心者がおかしくないポイント**  
今回は、私自身の失敗談も踏まえながら、ワークেশョンにおける「失敗」は?と?先で注意したいポイントについてお伝えします。



**ワークেশョン先に着いてからの過ごし方**  
今回は、ワークেশョン先に着いてからの過ごし方について、いくつかのポイントをお伝えします。

### 事業者や施設の想い



**日本ワークেশョン協会の入江代表に聞く「ワークেশョン」の定義や企業導入のヒント**  
新しい働き方として注目を集めている「ワークেশョン」。そのワークেশョンも、5年前、10年前の頃の働き方・暮らし方・生き方として着目されて注目している関係者から、日本ワークেশョン協会へ。



**メカネの街・鯖江市が挑む「ものづくり研修ワークেশョン」--キーパーソンに聞く**  
メカネの国内生産者を取り組む「ものづくり」が知られる福井県鯖江市が、最近「ものづくりの現場」が暮らしのワークেশョンのヒントを模索している。今回は「ものづくりが収まるワークESHON」について、第一線の参加者を取材予定です。



**流水を見ながらサウナ、地元産業にテクノロジーで還元も--北海道知床・斜里町の「一緒に楽しむ」ワークেশョン**  
北海道の東の端に位置する知床半島。世界自然遺産にも登録されている知床の雄姿「1日」のワークESHONは、一風変わったことを大々している。それは「ワークESHON」に会社と人、一緒に楽しむことだ。



**設立2年で200以上の自治体が参加--「ワークESHON自治体協議会」が目指すビジョン**  
知床山荘は、2019年に長野県と山荘ワークESHON自治体協議会を設立し、世界中のワークESHONの浸透や、自治体へのノウハウ共有などの活動を進めている。活動内容や狙いについて話を聞いた。



**ワークESHONの先進地「和歌山県」に聞いた変遷と狙い--都市部と地方の「通観」が不可欠**  
ワークESHONにおいて、先進事例を模索している自治体は急増している。2017年のワークESHONは、取組回数が、2017年~2019年間で約100社を超える企業はワークESHON実践しているという。和歌山県は、和歌山県知事長岡田英樹氏に、和歌山のワークESHONの特徴や狙いについて話を聞いた。

### 体験レポート



**温泉MaaSや'長野県千曲市で生まれる「働き方」を超えたコミュニティ**  
北千曲市が面白い。東京駅が約2時間。「東京の道」と評される温泉が魅力の長野県千曲市に行ってみよう。「これワークESHON?」と既存の概念を越えるような光景が広がっている。



**6人の大家族でも「ワークESHON」は楽しめるか? --北海道二セコ町での体験レポート**  
二セコ町がモテる事業として物販しているワークESHON。前は、その企画や実施に力を入れている。現地で何となく関係者の声を取り上げた。今回は実際に二セコ町で、どのような体験ができたのか詳しく紹介しよう。



**東京から90分--1日1000円で使える長野県の「ワークESHON佐久」でワークESHON体験**  
東京駅から約90分で行ける長野県佐久市のワークESHONスペース「ワークESHON佐久」にお邪魔し、ワークESHONを体験した。



**塩埜市の「副業型ワークESHON」を現地レポート--地元事業者にスキルで貢献、離島でデジタルデトックス**  
宮城県塩埜市で、10月21~24日まで開催された「副業型ワークESHON」の模様をレポートする。



## 📍 ワケーション入門



**会社員が「ワケーション」する際に気をつけること--有給にするかテレワークか**

今回は、会社員がワケーションを実践する際に入っておきたいことをまとめました。



**ワケーションの予算はいくら必要？--お金以外に大切にすべき「投資」も**

「1回のワケーションの予算はどれくらいがいいのか?」。よく寄せられる質問ですが、実はワケーションでは「お金」以外にも、大切にしたい「投資」がいくつかあります。



**家族と?ひとり? --ワケーションに誰と行くかは「どう過ごしたいか」で決まる**

ワケーションに「どこに行くか」に加えて大事なのが「誰と行くか」です。そこで一番悩むのは「家族を連れていくかどうか」と思いますが、今回は、「家族とワケーション」について書いていきます。

## 👤 事業者や施設の想い



**日本ワケーション協会の入江代表に聞く「ワケーション」の定義や企業導入のヒント**

新しい働き方として注目を集めている「ワケーション」。そのワケーションを、5年後、10年後の新しい働き方・暮らし方・生き方として定着させることを目指している組織がある。日本ワケーション協会だ。



**メガネの街・鯖江市が挑む「ものづくり研修ワケーション」--キーパーソンに聞く**

メガネの国内生産量9割を誇り「めがねの街」と知られる福井県鯖江市が、新たに「ものづくりの現場」が見られるワケーションプロジェクトを開始する。コロナ禍が収束するタイミングを見計らって第1弾の参加者を募る予定だ。



**ワケーションの先進地「和歌山県」に聞いた変遷と狙い--都市部と地方の「通訳」が不可欠**

ワケーションにおいて、先進事例に必ずといっていいほど名前が挙がるのが和歌山県。2017年からワケーションに取り組んでおり、2017年～2019年度の間で100社を超える企業をワケーション誘致しているトップランカーだ。和歌山県情報政策課長の榎明祐祐氏に、和歌山のワケーションの特徴や狙いについて...

## 📍 体験レポート



**温泉MaaSや寅さんゲストハウス--長野県千曲市で生まれる「働き方」を超えたコミュニティ**

いま千曲市が面白い。東京駅から約2時間。「美肌の湯」とも評される温泉が魅力の長野県千曲市に行ってみると、「これがワケーション?」と既存の概念を疑うような光景が広がっていた。



**6人の大家族でも「ワケーション」は楽しめるか?--北海道ニセコ町での体験レポート**

ニセコ町がモデル事業として取り組んでいるワケーション。前は、その企画背景や実施に向けた思いなど、現地で何人か関係者の声を取り上げた。今回は実際に1週間滞在し、どのような体験ができたのか詳しく紹介しよう。



**東京から90分--1日1000円で使える長野県の「ワークテラス佐久」でワケーション体験**

東京駅から約90分で行ける長野県佐久市のワークテラス佐久「ワークテラス佐久」にお邪魔し、ワケーションを体験した。

## ワケーション未経験の方に役立つ情報の「入門編」

「ワケーションに興味があるけれど、まず何から準備したらいいのかわからない」というワケーション未経験者の方に向けた情報の「入門編」では、ハウツーや、準備すべきもの、エリア選びのコツ、企業側のメリットとデメリットといった、さまざまな悩みを解決する記事コンテンツをお届けします。

## 自治体やワケーション事業者への現地取材

地域活性化などを目的に、ワケーションのプログラムに取り組む企業・自治体や、地域でワケーションをする方を受け入れるコワーキングスペース・宿泊施設の運営者などへの現地取材を通して、地域の魅力やワケーションの可能性を探ります。

## ワケーション体験レポート

記者自身によるワケーション体験レポートや、ワケーション参加者の声などもお届けします。記者が地域を訪れて感じた魅力を体験者の目線で発信します。

# ワーケーションカテゴリ限定 タイアップ記事広告

<https://japan.cnet.com/workcation/>

## 親子ワーケーションで地域と都会の課題を解決する「EduWork Trip」--育児と仕事どちらも諦めない仕組み

藤井 崇 (編集長) 藤川 理絵 2021年12月25日 10時33分

シェアする 202 | ツイート | 一覧 | B! | LINE | Pocket | 印刷 | メール | 保存

「EduWork Trip」導入事例、製品情報、調査レポートなど、ホワイトペーパー多数掲載

親子ワーケーションに特化した集客・販売サービス「EduWork Trip」が12月にリリースされた。親子で地域に滞在して地元との交流を回りつつ、親がいつもの仕事をするそばで、子どもは地域体験を通じた学びを得て成長できるというサービスだ。

EduWork Tripを手がける、凸版印刷 地域活性化事業開発チームの小出麻由氏に話を聞いた。2015年、自身が通っていた小学校が廃校になり、「地域が死にかけていくことに、ものすごく焦りを感じた」ことをきっかけに、地域活性化に取り組み始めたという。地域でのプロジェクトを推進すると同時に、妊娠、出産を経験。1人の母として、子育てと仕事の両立を模索する経験も、新規事業開発に生かされたという。



凸版印刷 地域活性化事業開発チームの小出麻由氏

### 親子ワーケーションで地域と都会の課題を解決

小出氏は、「自分が母になったことで、都市の子育て世代の課題が、自分ごとになった」と、地域活性化の取り組みを振り返る。調べてみると、子育て世代の半数以上が、子どもに対して、職場に対しても、罪悪感や劣等感を抱いていることが分かったという。「仕事に関しては圧倒的に女性の方が、でも実は男性も、子どもと一緒にいる時間がないことで罪悪感を感じていた」(小出氏)



テレワーク等による働き方の多様化により、場所にとらわれない柔軟な働き方として、ワーケーションへの関心が高まりつつあります。さらに、制度としてワーケーション導入を推進したりチームビルディングに取り入れる企業も増えるなど、個人だけでなく企業にもその広がりを見せており、企業にとって「自由な働き方ができる魅力」は社員エンゲージメントの向上や採用活動だけでなく、関係人口創出など地方創生につながることも期待されています。

CNET Japanでは、こうしたワーケーション制度を導入した企業様の取り組みや、ワークスタイル変革を後押しするためのサービスやツールを提供されている企業様を対象に、記事広告に誘導バナー枠を付帯した特別パッケージメニューを**40%OFF**でご提供するキャンペーンを実施いたします。

2023年9月末までの期間限定キャンペーンとなりますので是非、この機会にCNET Japanをご活用ください。

訴求メリット：企業のSDGs (Well-being) やCSR活動の認知拡大/優秀な人材の採用活動におけるブランディング/リモートワークに適したサービスやツールの認知拡大/地方の魅力発信やビジネスパーソンの自治体への誘致など

メニュー	通常価格	項目	概要	誘導期間
①タイアップ記事広告	1,500,000円 (内制作費60万NET)	企画/取材/制作	3,000文字程度	-
		掲載/誘導 (企画特集枠)	ほぼ全ページに掲載	1ヶ月
		想定PV 8,000	誘導オプションにより変動	1ヶ月
②ジェネラルローテーションラージバナー	1,000,000円	500,000imp (保証)	想定CTR0.05%	1ヶ月

※1. パッケージではなく、タイアップ記事広告のみのご出稿も可能です。詳細につきましては弊社営業迄お問い合わせください。

※2. ワーケーションに関連する訴求に限ります。

※3. 2022年2月末迄のご出稿分に限り、パッケージ価格を適応させていただきます。

特別価格 (記事広告のみ)

**1,000,000円**

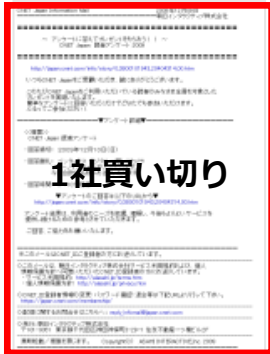
①+②パッケージ特別価格

**1,500,000円**

# ワーケーションカテゴリ限定 集客メールプラン

<https://japan.cnet.com/workcation/>

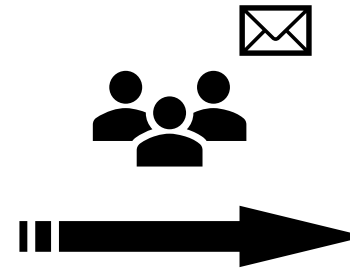
CNET Japan読者に向けたメール配信枠を2022年3月末掲載迄の期間中、**ワーケーションツアーやイベントの告知/集客、自治体や施設のPRに関わる内容限定で特別価格**にてご提供いたします。是非、この機会にCNET Japanをご活用ください。



## 1社買い切り(Information Mail)

CNET Japan Information Mail 概要	
掲載箇所	1社買い切り
配信数	約 110,000通×1回
配信日	平日
原稿規定	全角38文字×100行以内
レポート	配信数・各URLのクリック数
定価金額	600,000円

特別価格 **400,000円**



クリックして遷移



- ・ワーケーションツアー
- ・イベント申込みページ
- ・自治体のwebサイト等



## ニュースレター(ヘッダー枠)

CNET Japan ニュースレター 概要	
掲載箇所	ヘッダー枠
配信数	約 110,000通×3回
配信日	平日
原稿規定	全角38文字×5行以内
レポート	なし
定価金額	300,000円

特別価格 **200,000円**

- ・メールはCTRは0.1~0.2%を想定しておりますが、企画の内容によって前後する可能性がございます。
- ・メール配信数は変動する恐れがございます。
- ・メール原稿のご入稿締切日は下記のとおりです。  
informationメール 配信日5営業日前の16時迄 ニュースレター 配信日3営業日前の16時迄
- ・キャンペーンの対象はワーケーションイベントなどの集客や自治体のPR限定となります。

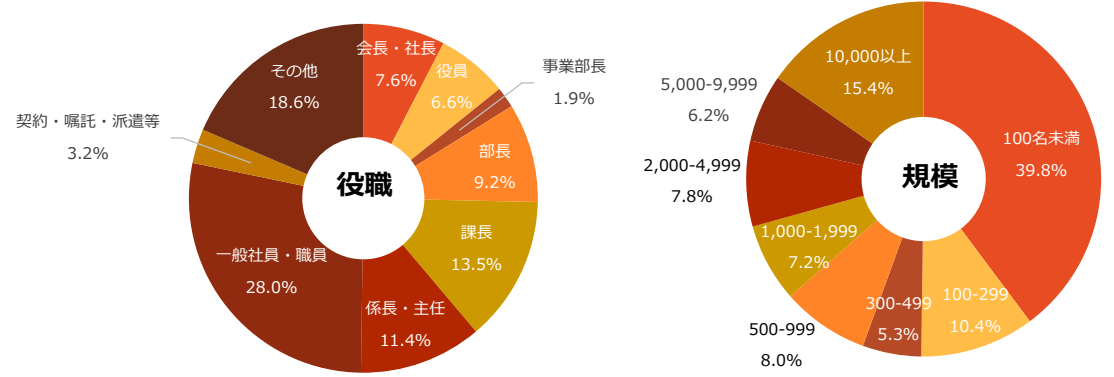


## CNET Japan

PV : 1,300万  
UU : 300万



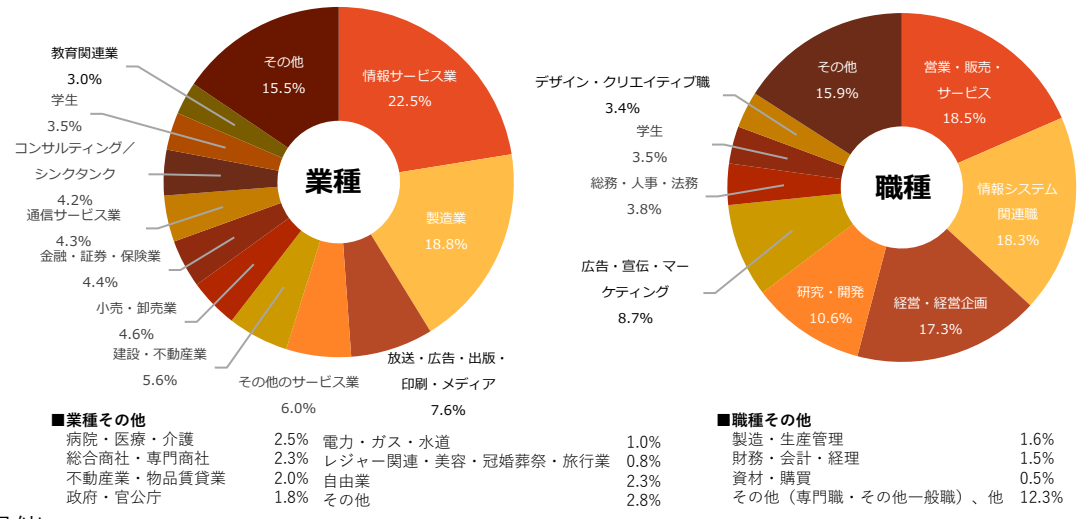
CNET Japan 読者データ (2019年度版)



## テクノロジーの力で未来を創る「挑戦者」を支えるビジネスメディア

スマートシティから農業IoTまで、テクノロジーをビジネスに活用してイノベーションを起こそうとしている“挑戦者”を厳選して取材します。

- 月間1300万PV、月間300万UU、30代以上の意思決定層が中心読者
- 米国発と日本国内のテクノロジーニュースを幅広く網羅
- 「テックトレンド」「クロステック」の両輪でニュースを発信
- 「新規事業」や「イノベーション」という切り口で特集やイベントなども積極的に開催



# お問い合わせ



朝日インタラクティブ株式会社

営業部 : [sales-inq@aiasahi.jp](mailto:sales-inq@aiasahi.jp)  
TEL : 03-3238-0702

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-2  
ミレーネ神保町ビル5F